

1400人



(4000円)

実用新案登録願 **E**  
54 10 22  
昭和 年 月 日

特許庁長官殿

1. 考案の名称

スピーカシステム

2. 考案者

住所 福島県郡山市栄町2番28号  
三菱電機株式会社 郡山製作所内  
氏名 鈴木 敏一

(外0名)

3. 実用新案登録出願人 郵便番号 100

住所 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号  
名称 (601) 三菱電機株式会社  
代表者 進藤 貞和

4. 代理人 郵便番号 100

住所 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号  
三菱電機株式会社内

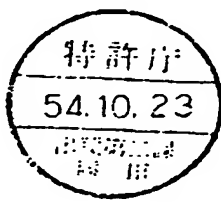
氏名 (6699) 弁理士 葛野 信一

(外1名)

(連絡先 03(435)6995特許部)

5. 添付書類の目録

明細書 1通  
図面 1通  
委任状 1通



1通  
1通  
1通

方式  
審査



63182

54 145979

DESI AVAILABLE COPY

明 細 書

1. 考案の名称

スピーカシステム

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) バスレフレックス方式のスピーカシステムにおいて、ダクトのエンクロージャー内、外部側の開口部の少なくとも一方に吸音材を取付けたことを特徴とするスピーカシステム。
- (2) ダクトの開口部の内、外周の少なくとも一方に吸音材を取付けた実用新案登録請求の範囲第1項記載のスピーカシステム。
- (3) ダクトの開口部の外周に吸音材を巻付けた実用新案登録請求の範囲第1項または第2項記載のスピーカシステム。
- (4) 吸音材をガラスウールとした実用新案登録請求の範囲第1～3項のいずれかに記載のスピーカシステム。
- (5) 吸音材をポリプロピレン、ポリアミド、ポリエステルなどの合成繊維とした実用新案登録請求の範囲第1～3項のいずれかに記載の

(1)

63182

スピーカシステム。

(6) 吸音材を発泡金属などの多孔質体とした実用新案登録請求の範囲第1～3項のいずれかに記載のスピーカシステム。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案はバスレフレックス方式のスピーカシステムの改良に関する。

第1図は従来のを断面図を以て示し、(1)はエンクロージャー、(2)はスピーカユニット、(3)はダクト、(3a)はダクト(3)のエンクロージャー(1)の内部側の開口部、(3b)はダクト(3)のエンクロージャー(1)の外部側の開口部である。このダクト(3)にはスピーカユニット(2)の背面に発生する音圧により空気が流れるが、その空気の流路は、図から明らかなように、ダクト(3)の開口部(3a)および(3b)において急激に変化するものであるので、空気流は乱流となり、これが原因となつて雑音性の異常音を発生するものである。

本考案は従来のもので、上記のような欠点を除去しようとするものである。

(2)

本考案は、このため、ダクトのエンクロージャの内外部両側の開口部の少なくとも一方に吸音材を取付け、ダクト開口部において空気の乱流が発生しにくいようにするものである。

第2図は本考案の一実施例を示し、(1)～(3)はそれぞれ第1図におけると同じもの、(4a)はダクト(3)のエンクロージャ(1)の内部側の開口部に取付けた吸音材、(4b)はダクト(3)のエンクロージャ(1)の外部側の開口部に取付けた吸音材である。そして、これら吸音材としては、ガラスウール、または、ポリプロピレン、ポリアミド、ポリエステルなどの合成繊維、あるいは、発泡金属などの多孔質体を用いることができ、この点は以下の他の実施例についても同じである。

上記実施例においては、吸音材(4a)および(4b)によりダクト(3)の開口部における空気の乱流の発生が抑制されるので、従来のものに比し、乱流による雑音性の異常音が小さくなる。

なお、上記実施例の吸音材(4a)および(4b)は、

(3)

いずれか一方のみとしても，上記とほぼ同様の作用をする。

第3図は本考案の他の実施例を示し，(1)～(3)はそれぞれ第1図におけると同じもの，(4)はダクト(3)の開口部の外周に巻付けた吸音材であり，本実施例においては，第2図に示した実施例とほぼ同様の作用をするが，吸音材(4)の取付けが容易である。

第4図は本考案のさらに他の実施例を示し，(1)～(3)はそれぞれ第1図におけると同じもの，(5)はダクト(3)の開口部の内周に取付けた吸音材であり，本実施例においては，吸音材(5)は空気の乱流の発生を抑制するのみならず，ダクト(3)の低音増強作用をも抑制するので，ダンプドバズフレックス方式を兼ねたものとなる。

以上のように，本考案によれば，バズフレックス方式のスピーカシステムにおけるダクトの開口部に発生する空気の乱流による雑音性の異常音を小さくし，その性能，音質を向上させることができる。

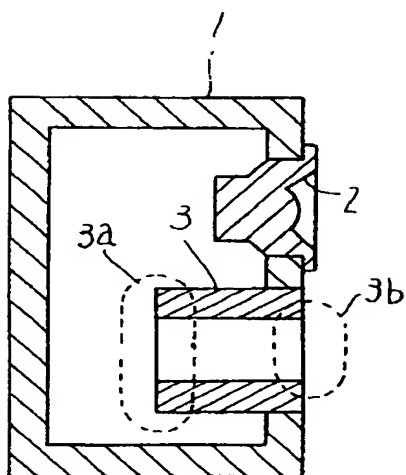
#### 4 図面の簡単な説明

第 1 図は従来のバスレフレックス方式のスピーカシステムを示す断面図，第 2 ～ 4 図は，それぞれ本考案の実施例を示す断面図である。

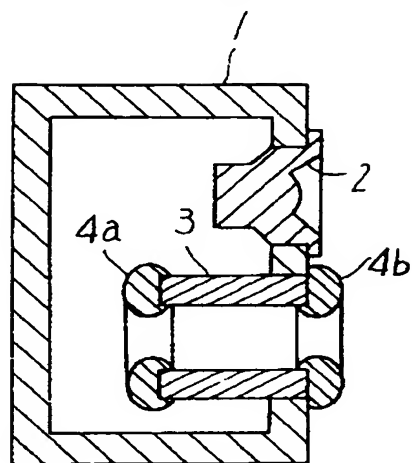
(1) … エンクロージャー，(2) はスピーカユニット，(3) … ダクト，(4a)，(4b)，(5)，(6) … 吸音材。

代理人 葛 野 信 一

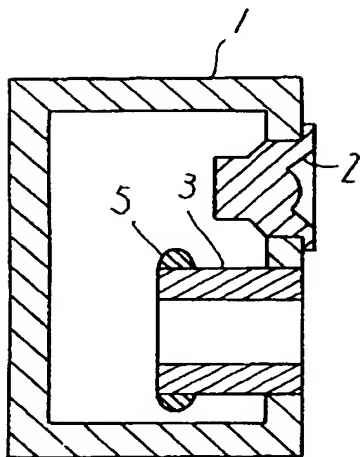
第 1 図



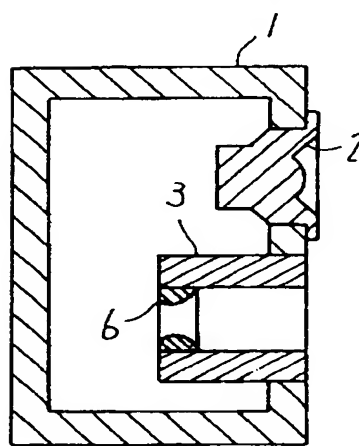
第 2 図



第 3 図



第 4 図



63182

代理人 萬野 健一

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

考案者

代 理 人      郵便番号 100  
住 所      東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号  
            三菱電機株式会社内

氏 名(7375)弁理士      大 岩 増 雄



63182